

日本発の色、日本初の色、
その土地にしか無いサステナブルな色

いなか伝承社 田中寛人

プロフィール

在来種栽培作物・薬草・ジビエ・淡水魚・昆虫食・保存食・農耕技法・民具・伝統技術・郷土料理・景観・土など

専門：

地域資源の掘り起こし調査とその可視化(商品開発・体験コンテンツ造成)に向けてのアドバイスや伴走支援

- ・ 中小企業庁 登録専門家（地域資源の掘り起こしと可視化）
- ・ Professional Certificate in Sustainable Tourism（GSTCサステナブルツーリズム国際認証制度）
- ・ 農山漁村発イノベーションプランナー(和歌山県・農水省)
- ・ 環境カウンセラー(環境省)
- ・ Yahoo! JAPAN地域クリエイター、地域ライター

発信内容

題名：日本発の色、日本初の色、その土地にしか無いサステナブルな色。

『この町だけの色・この地域だけの色・この島だけの色』が作れます。

地域ごとに、地質的背景や文化的背景によってその土地の土に含まれる成分が異なり、その差によって異なる色(本当の大地の色、アースカラー)が生まれます。

そこにしか無いonly1の色、SDGsにも適った持続可能な取り組みが可能。

その天然色を使って、地域のクリエイターや事業者を巻き込んだ商品開発や体験コンテンツの造成をして、地域の色(個性)を発信していきませんか？

天然素材（土）から作る日本発の色、日本初の色、そこにしか無い色で 攻める

土 色見本

クリーム色

ねずみ色

こげ茶

うす茶

赤茶



天然素材で木綿布を染色。色の違いは土の採集地の違い



紫

こげ茶

朱

オレンジ

黄

自作サンプル

製品イメージ





土で染めることによる特徴

- 天然素材だが植物染めのように日光による退色が無い
- 洗濯での色落ちが植物染めより少ない
- その土地の風土、文化的背景由来の色がでる
- 色のバリエーションが広い。赤系統、黄色系統、白＋黒
- 地域にあるものを使える
- 素材がサステナブル。土から採れて、製造時も最後も土に還る
- SDGsに叶う素材

提供価値

- 自分だけの色、あなただけの色を作れる。優しい色
- 色が落ちてきたら、自分で染め直せる。
- 今までの染色とは違うやり方ので、色を育て楽しみがある
例：デニムジーンズの青色
- この町だけの色
- この地域だけの色
- この島だけの色
- 大切な人との思い出の場所の土を身に着けて暮らす

★様々な企業や人が関われる余白がまだまだある

商品・サービス内容

①ご当地限定の色の体験コンテンツ

②ご当地限定の色の各種商品

※**染色**以外にも、絵画の色材料・クレヨン・壁塗りの色材料などに

地域側連携候補：

観光事業者、温泉や銭湯関係者、染色家、教育関係者、アーティスト、デザイナー、ジオパーク、農家、繊維&織物産業、地域おこし協力隊、ものづくり関係者、高校や研究機関

→地域側には、クリエイティブなことに挑戦する場づくり

中長期的には

- 日本初、世界初の商品開発を行う
- 商品開発と同時に、これまでに無い体験コンテンツ「『色』のツーリズム」「アートとしての色」等も造成し、地域に来たくなる仕掛けを創る。地域の多様性ある未来を創る素材になる。
- 実際に住民巻き込んで各地の土から色バリエーションを創る
- 地域の風土、歴史、文化（テロワール）を色に変えて発信。
テーブルカバーや持ち帰れるランチョンマット、スタッフTシャツなどにして地元の飲食店や役所などで使ってもらえると地元の人にも外の人にも伝えやすい

最後に

地域の個性を色で表現して、地域の人や事業者を巻き込んで発信していきませんか？

その地域側のアクションに対して、ソトから自分で考えて行動できる人材を集めることも可能です。

今ならまだブルーオーシャンでマーケットは空いています

クリエイティブで持続可能な取り組みを検討している自治体や組織の皆さまには、是非ご検討頂ければ幸いです